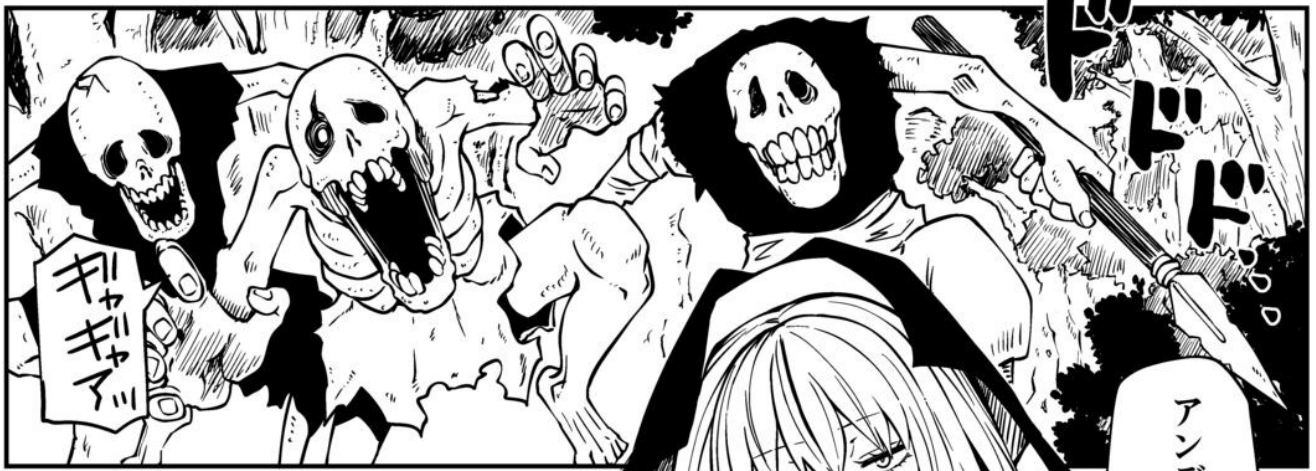


強強 聖女

無様負け

R18  
ADULT ONLY  
18歳未満閲覧禁止



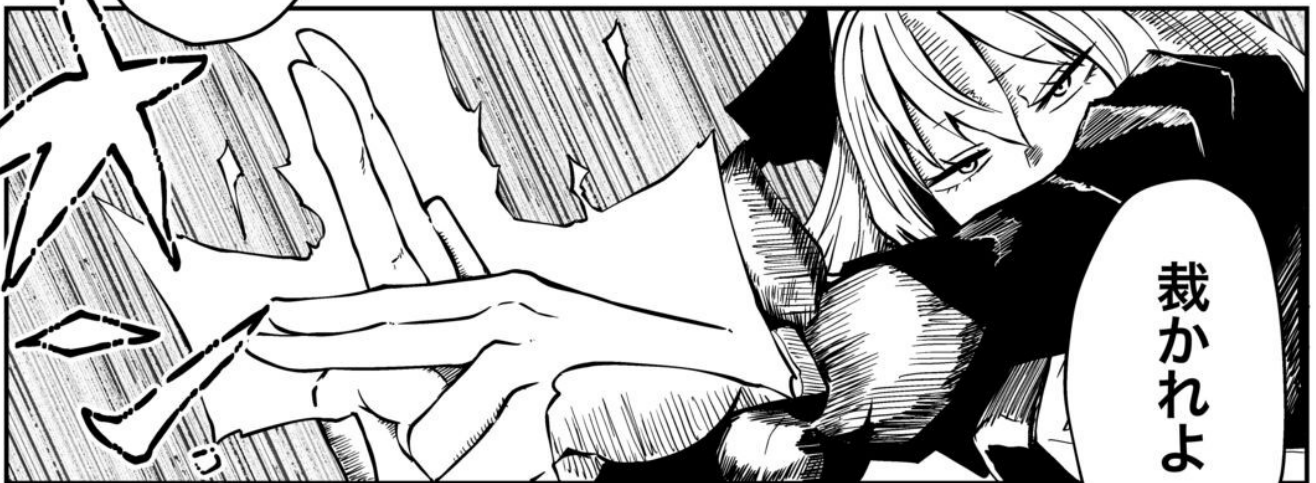


アンデッド…



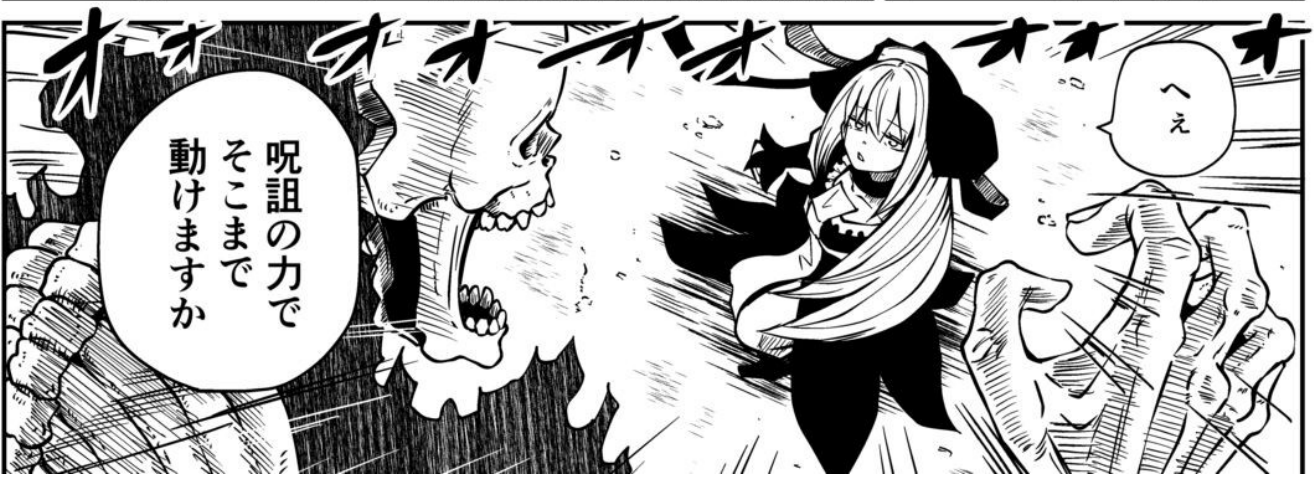
死の恐怖に  
耐え切れず  
仮初の生命に  
縛られし咎人共め

聖なる光に…



裁かれよ

ゴゴゴ



しかし  
残念でしたね

精霊の加護を  
受けた私に  
あらゆる攻撃は  
通じませんよ

ましてや  
アンデット  
など…

触れることすら  
赦されない



あ…  
ありがとうございます…  
ござります…

礼には  
及びません

神に仕える  
者として  
当然のことを  
したまで



しかしここは  
魔物や悪党が  
多く出没します

貴女ひとりでは  
危険すぎますね

街まで私が  
同行  
しましょう

# ミスー エミリス

名前 エミリス = ルフレ

「攻撃」を反射する  
能力。

女神の洗礼によって  
授かった精霊の加護  
の力。

「敵意のある攻撃」  
かつ

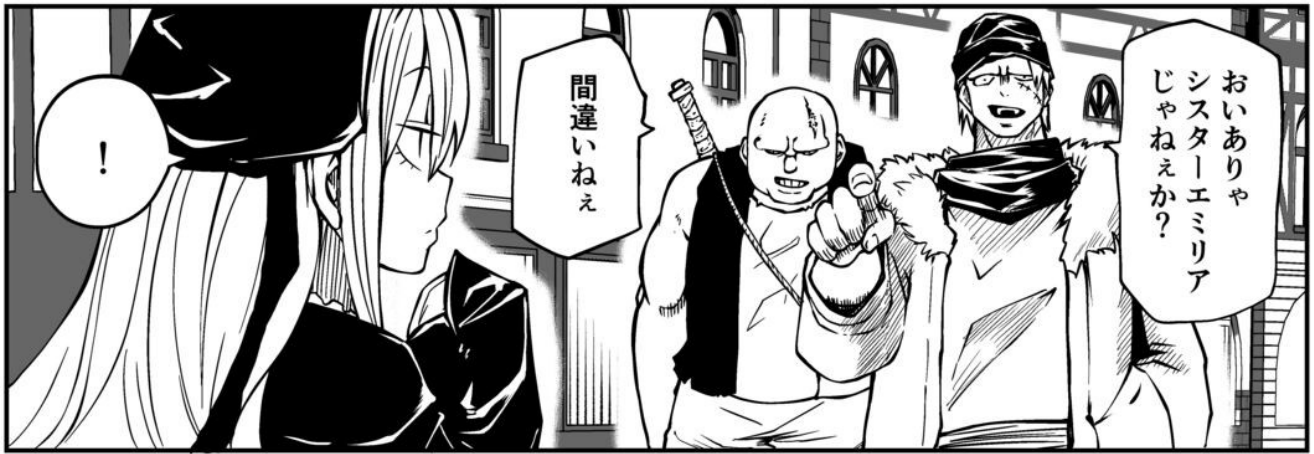
「エミリスが攻撃と  
認識した攻撃」

でないと反射  
できない。

ちょっと嗜虐的。

なめろ  
しかた。





間違いねえ

おいありや  
シスターエミリア  
じゃねえか？



なるほど  
なるほど

ふむ  
ふむ



妙な能力を  
持つてるからって  
調子に乗りやがって

よく呑気に  
街を歩けたな  
テメエのせいで  
俺らの仲間が  
何人捕まったと  
思ってたんだア？



大丈夫ですよ  
安心して  
ください

知性と品性の  
欠如はそれ自体が  
罪ではありません

それを認められない  
弱さこそがあなた方に  
とっての禍いなのです



フキッ

このクソママ  
カッ

カッ

やれやれ

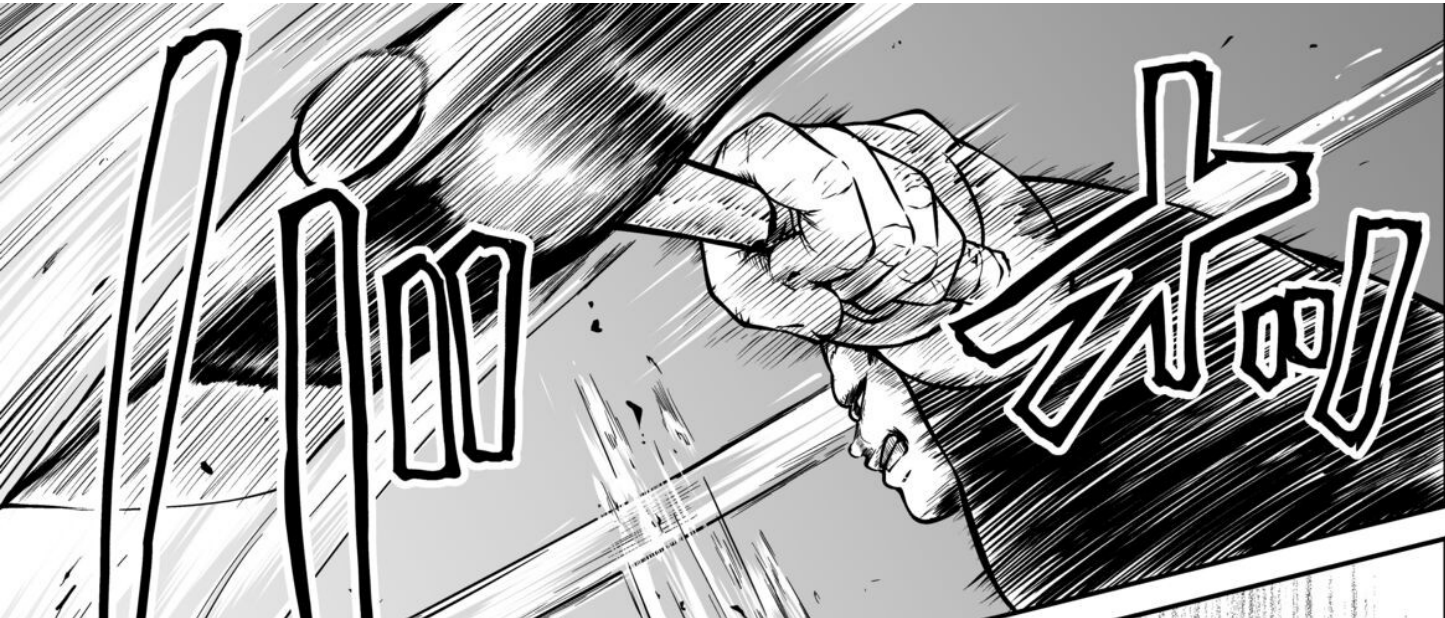
仕方ない  
ですね

学びは救済へと  
繋がる道

オ  
オ  
オ

ここはひとつ  
私が教えて  
差し上げましょう

オ  
オ  
オ



これが  
「敗北」です



その為にも  
敢えて

魔力は使わず  
闘って  
あげましょう

己の弱さを  
知る...

さっし

さっし

さああなたは  
どうですか？

覚悟が決まったら  
いつでも  
かかってきて  
ください

もちろん  
逃げるのも  
勇気ある選択だと  
思います

テメエ...

ピキッ



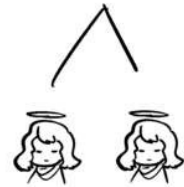
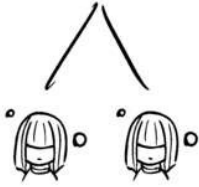


# 神格

いいはいい



人型じゃないの  
いい



## 精霊

信仰

加護



人間

精霊を持つ神格と  
持たない神格がいい。  
神格と直接契約する者もいいが  
多くの場合その後、神格の力の  
影響によって精霊化する。

人間

# 禁忌

人間に対し深刻な影響を与える神格のことを「悪魔」と呼称します。

悪魔信仰や悪魔の契約は多くの国で禁止されています。

妖魔の森

シッルル



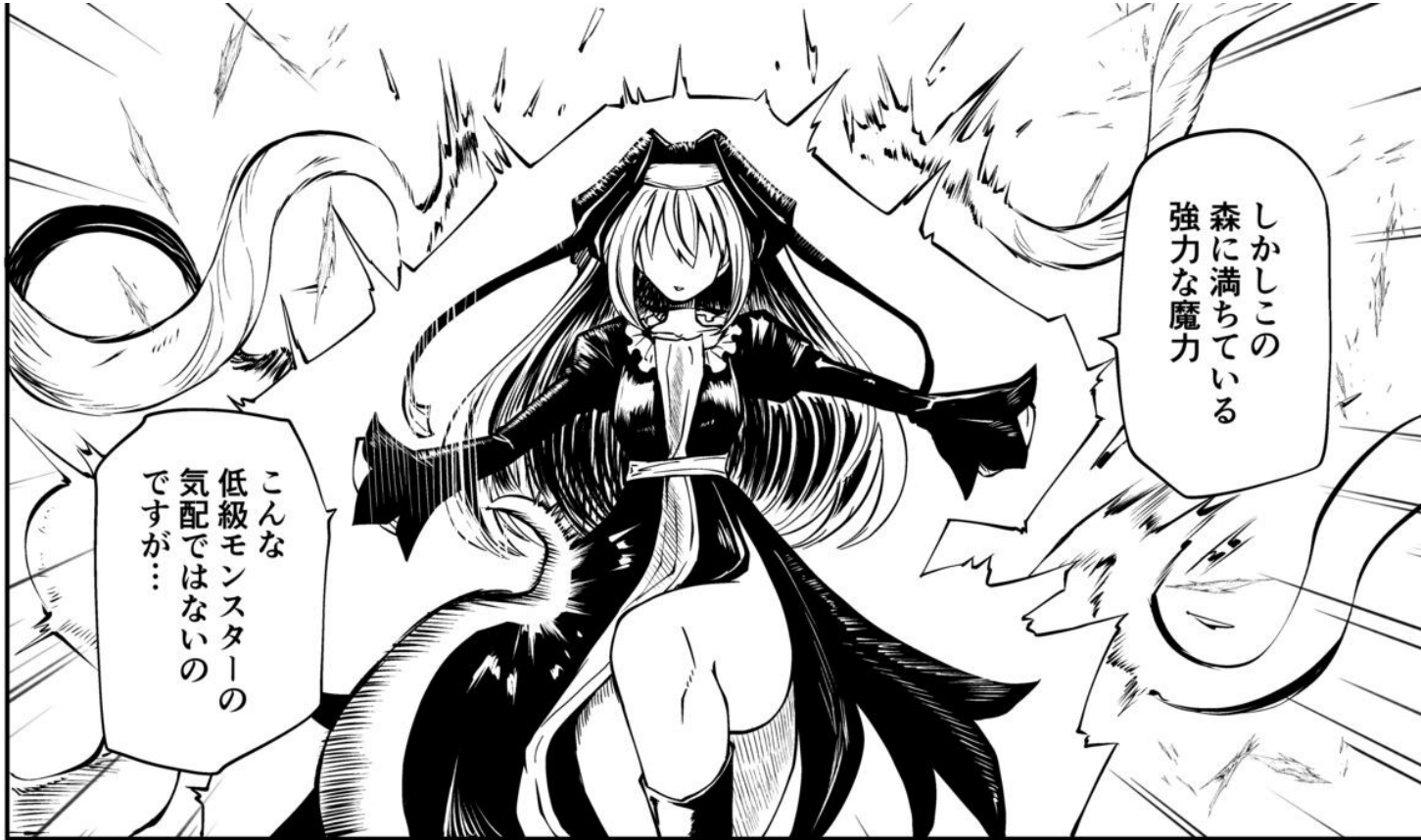
全く  
鬱陶しいですね

流石は行方不明者  
続出の危険度A級  
エリア:

手数だけは  
相当なもの  
です

ハッ  
ハッ



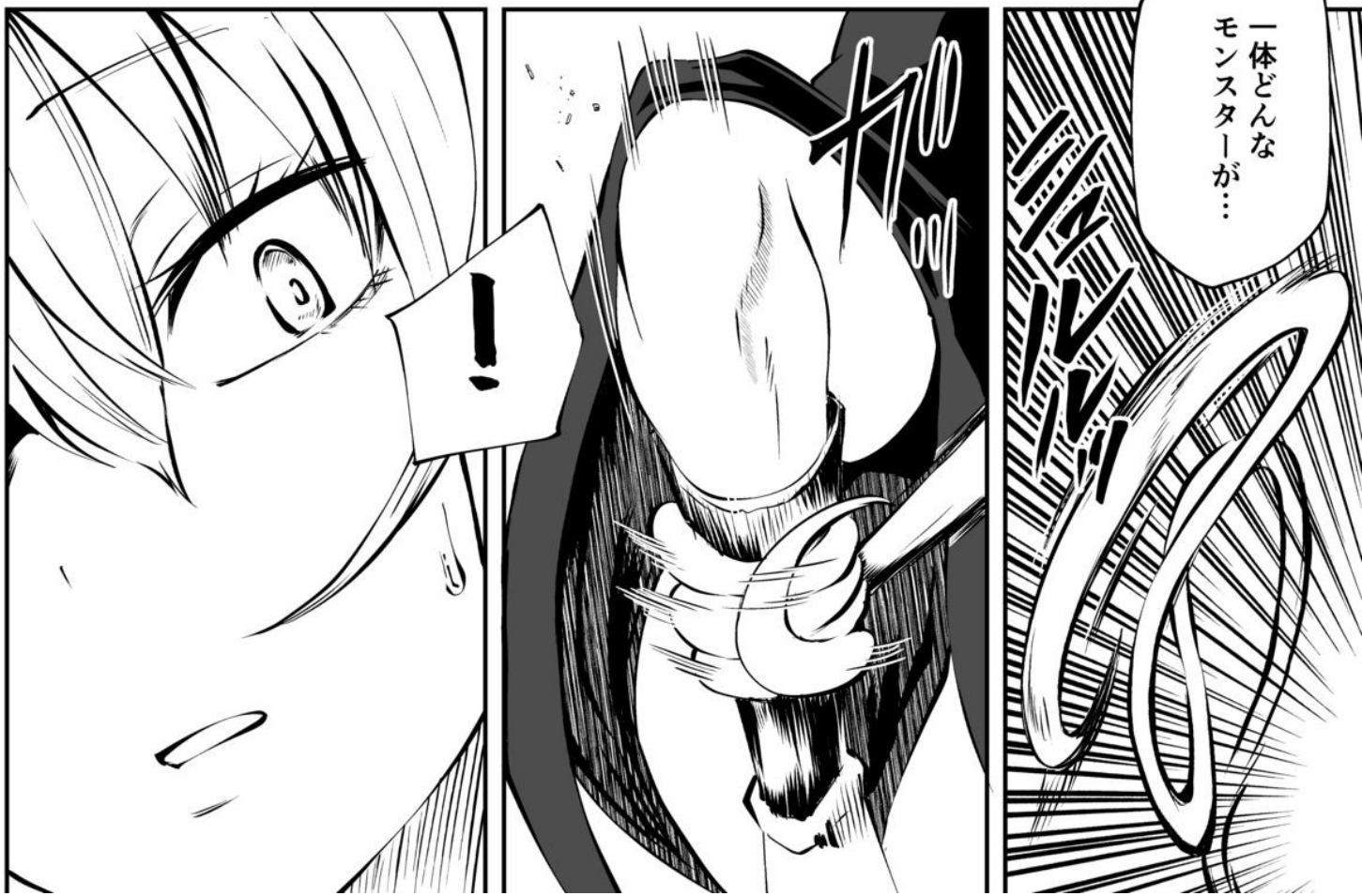


しかしこの  
森に満ちている  
強力な魔力

こんな  
低級モンスターの  
気配ではないの  
ですが…



姿も見せずに  
このプレッシャー



一体どんな  
モンスターが…



な...?!

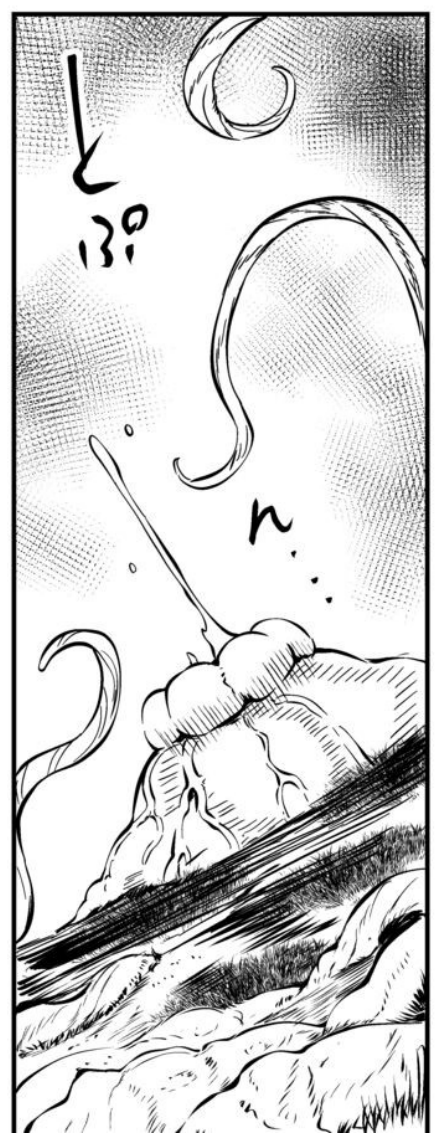
クッ



おかしい：  
私の精霊の加護は  
あらゆる攻撃を  
遮断するはず：

もちろん  
捕食行為も  
攻撃に含まれる

ということは…  
この生き物は  
私自身に危害を  
加えるつもりはない？  
それほど強力な  
モンスターでも  
なさそうですし



ん

ん

脱出のために  
攻撃してみま  
しょうか？

しかしこの巨体に  
ダメージを与える  
となると私自身無事では  
すまないでしょうね…

精霊の加護では  
返り血等は  
防ぐことが  
できない

仮にコイツの体液が  
強酸だった場合  
私は全身にそれを  
浴びることにな  
るでしょう

エミリアの考えは  
部分的に  
当たっていた

この植物は魔素を含む  
物質を好んで食す  
特性を持つが  
肉を分解する力はない

捕食対象もエミリアではなく  
エミリアの装備品だったため  
精霊の加護は発動  
しなかったのである

この植物にとって  
高純度の魔素を含む  
エミリアの服は  
最高のご馳走だった





く…っ

これは…  
確かに私への  
攻撃ではない  
ですが…

極めて不快  
ですね

しょうがない…  
ダメージ覚悟で  
攻撃しますか…





な…

これは…想定外の  
トラップですね…

びりびり…



あら…  
こんなところに  
シスターさんが  
なんの用かしら？



そんな  
恥ずかしい  
カッコで  
森のお散歩？

聖職者とも  
あろうものが  
随分はしたない  
趣味ねえ

どうせなら  
私をもっと  
気持ちよく  
して  
あげよっかあ？

白々しい  
ですね

この悪趣味な罠に  
かかった獲物を  
狩りに来た…って  
トコですか？

こいつが…

アザリリ

先程から  
感じていた  
魔力の正体…！

そんなカッコで  
カッコつけちゃって…

うふふ  
かーわいい♡

ミリエル

人間？  
モンスター？

どちらにせよ  
精霊クラスの  
力を持つ怪物ッ

ミリエル

ソソるわ♡





ふうん…

これが  
精霊の力…

なるほど  
ねえ



無駄な攻撃は…

やめにするわ



私に貴女の  
攻撃は通用  
しませんよ

ふふ…  
そうみたいね











この…不快な  
催淫作用の  
ある体液…

他人の  
魔力を吸収  
する能力…

淫魔と契約した  
**魔女**  
ですね



は…  
やってくれ  
ましたね…

こんな醜態を  
晒すのは  
初めてですよ

でも貴女の正体も  
わかりました



悪魔との  
契約は禁忌  
ですよ

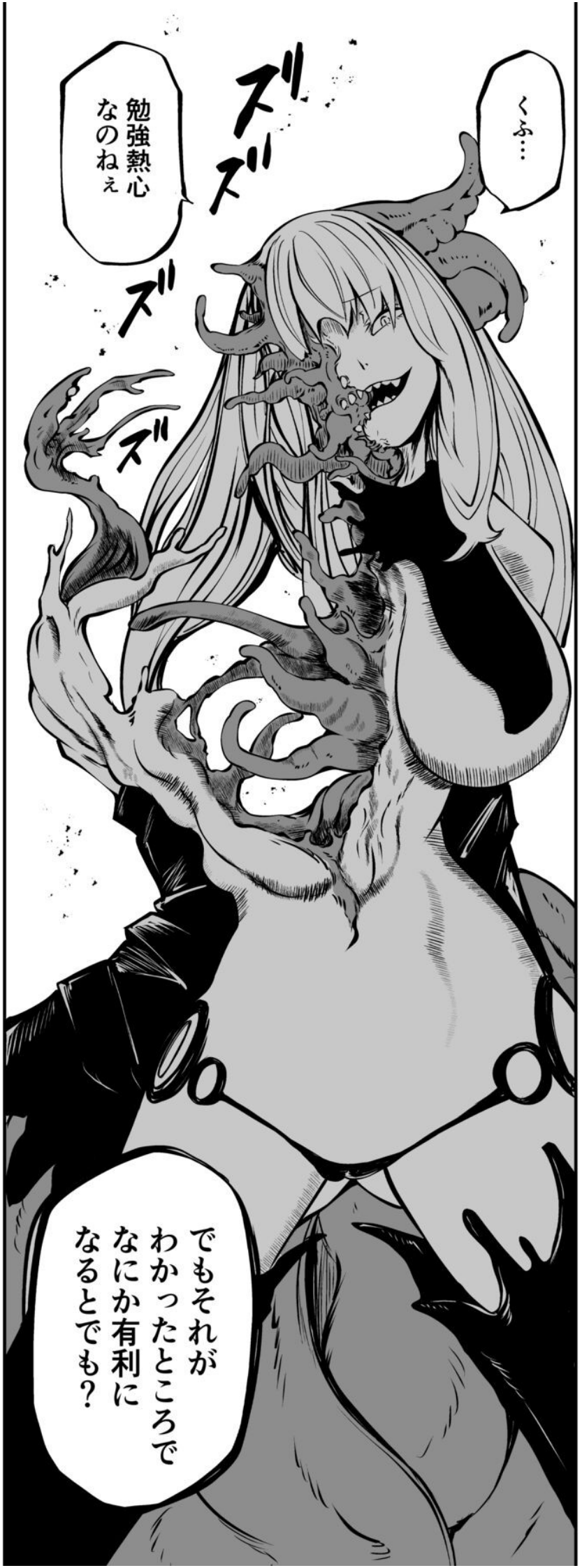
捕まれば  
極刑は免れない  
でしょうね



でも実際に  
極刑に処された  
魔女はいない

なぜなら悪魔と  
契約した人間を  
殺す手段は存在  
しないから…

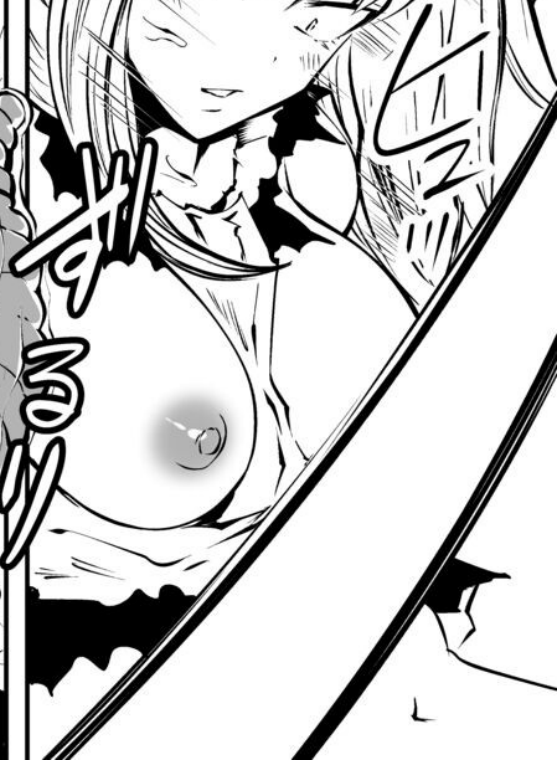
でしょ？



勉強熱心  
なのねえ

くふ…

でもそれが  
わかったところで  
なにか有利に  
なるとしても？

















さっき  
お腹に卵を  
産んでおいたの

でもちよつと量が  
多かったみたい…

ひ…  
ひり出すって

何匹か  
ひり出して  
いいわよ♡

バカなこと  
言わないで…ッ



触手が身体の中で  
催淫液を分泌し  
続けてくれるから  
ずーっと気持ちよ  
なれるわよ



あ…でも勝手に  
出てこようと  
してる♡

がんばれ♡

もここ

おたおたおた



難しいことじゃ  
ないでしょ

ウンチ出すみたいに  
気張ればいいのよ

そんな  
コト…ッ

それとも聖女様は  
ウンチなんてしない  
のかしら









もうどつちの  
穴でイッてるのか  
すらわからない

このままじゃ...  
ロイツの遊び半分で  
イキ殺される

考える...  
なんとかしないと...

かっかっかっかっ

はっはっはっはっ

ちゅぽぽぽぽ

なにか...

考え...る♡



くくっ  
もう耐えようとも  
しないのねえ

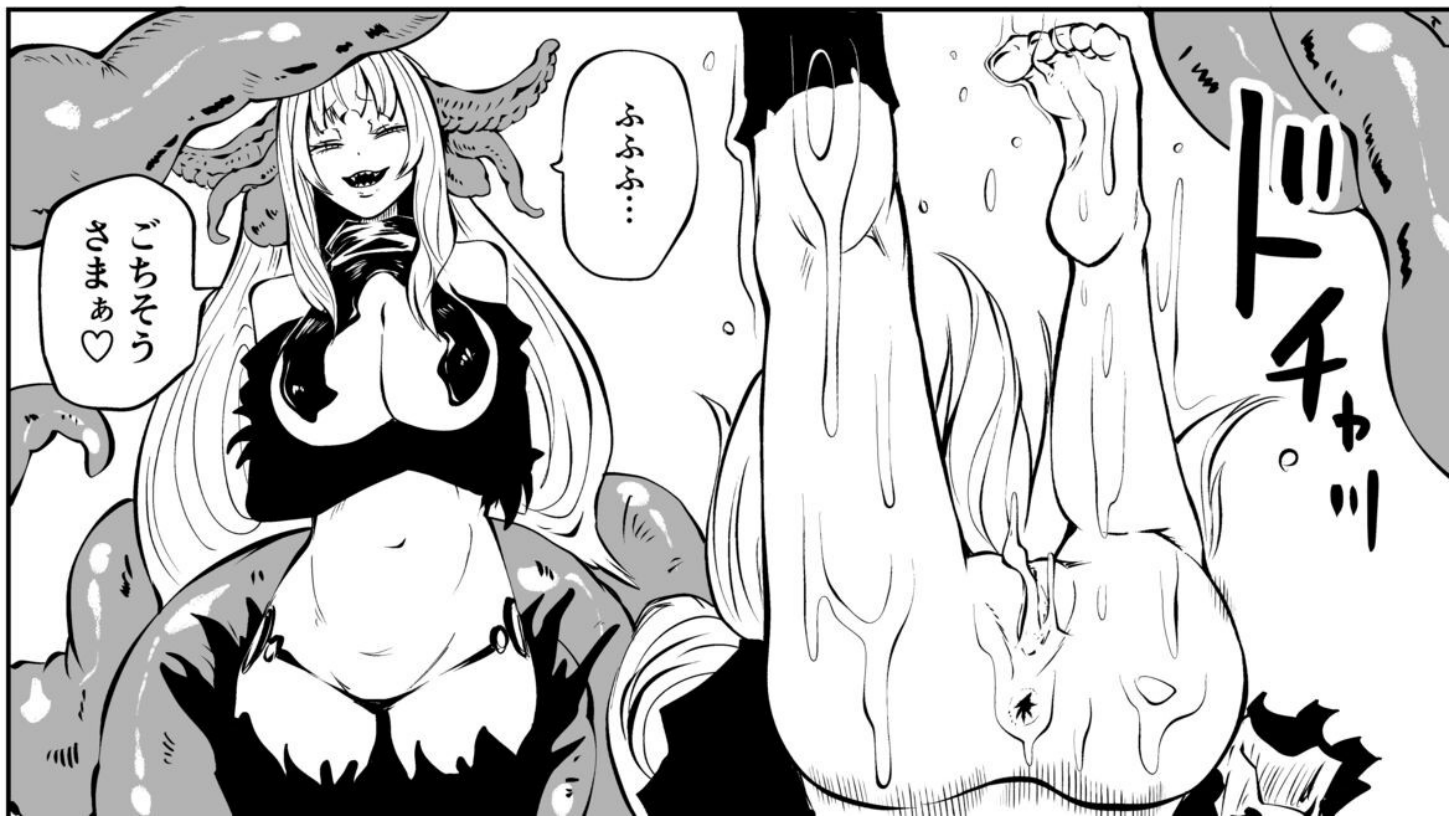
このまま魔力を  
吸い尽くして...

すっからかんの  
イキ肉になったら  
ギルドに送りつけて  
あげるわ♡

あっははははあ♡









ホカッ...♡

あなたすっごい  
魔力量ねー  
吸収するのに  
時間かかった

そっ  
そっ

大丈夫？  
イキ死んで  
ない？

クスッス...

どッ...♡



裁かれよ



聖なる光に...

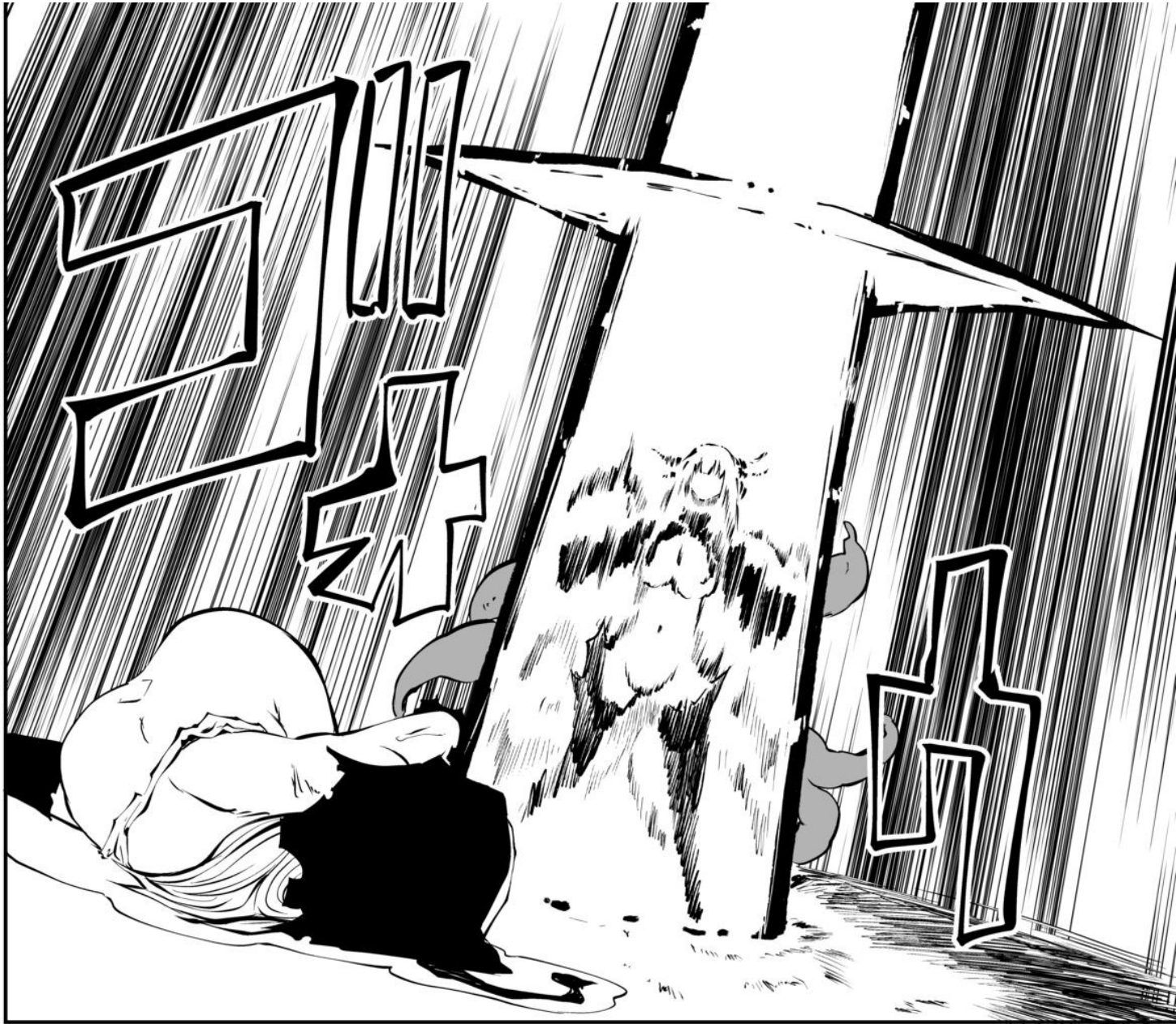


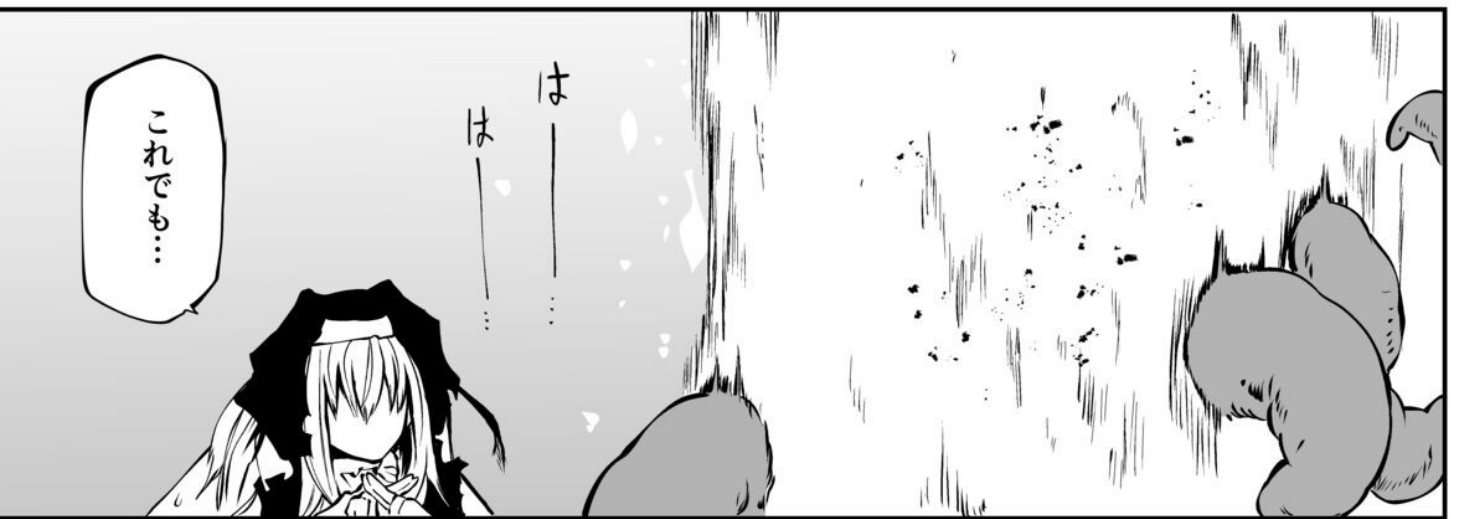
あら？まだ  
動けるの？

魔力も体力も  
カラッポの  
クセに...

ガッ  
ガッ  
ガッ

せ...





とにかく  
今は……

はや……

逃げ……





じゃあ今から  
してあげるから...

はじめてのキスで  
イっていいよ♡

なんかみんなに  
見られてる...♡

エッチ  
すぎる♡  
なの...  
なの...

も

# ラブホ女子会 シリーズ 連載中

あ

なに♡  
に♡  
うやうや♡

ガクガク  
ガクガク  
ガク

ガクガク  
ガクガク

# チカトセ



🔍 チカトセ 一水社

